

# 一喜一憂

「一喜一憂」

情況の変化に喜んだり、  
心配したりすること

藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

No.11

## ホタルとホタルブクロ

ゆううつと思えば、雨もむさくるしいが、妻は草木に生命をもたらす長雨に感謝します。

妻の実家はふしの川といふと。そう言われてみれば草花はいつそう色濃(?)く鮮明になつて来る。

今年は、入院中でホタルを見に行く機会がなかつた。もつとも、入院していなくとも行つたかどうかわからぬ。暗い夜中をしか

ホタルが交互に光を競

川岸の右側と左側で泳ぐのがあたり前だつた。

これは合戦ではなく

オスがメスに呼びかけ

メスがオスに応える恋

の交信である。この光

の交信を源平合戦と呼んでいた。

成虫となつたホタル

両手に包むように持ち

帰り、蚊帳(かや)の中

で飛ばして遊んだり

私たちが子どもこ

していたのを思い出す。

今の子どもたちは蚊帳

も多分知らないだろ

う。妻は染めて夏は涼

しいとスマック風の洋

服にして着ている。

ゲンジボタルは6~

7月ごろ、ひと回り小

さいへイケボタルは7

月ごろから姿を現す。

今、我が家ではホタ

ルブクロが真っ盛りで

ある。白と紫の2色が

鮮明になつて来る。

所を老人がトボトボ、

おつかなビックリ歩い

ても、迷惑な話だ。

妻の実家はふしの川

の側にあつた。まだ私

たちが幼少の頃から中

学生ごろまでは、川で

泳ぐのがあたり前だつ

た。プールなんて洒落

たものもなかつた。6

月中旬ごろからは、ホ

タルの乱舞を見に行つ

た。

これは合戦ではなく

オスがメスに呼びかけ

メスがオスに応える恋

の交信である。この光

の交信を源平合戦と呼んでいた。

成虫となつたホタル

つかまえたホタルを

両手に包むよう持ち

帰り、蚊帳(かや)の

中で飛ばして遊んだり

私たちが子どもこ

していたのを思い出す。

今の子どもたちは蚊帳

も多分知らないだろ

う。妻は染めて夏は涼

しいとスマック風の洋

服にして着ている。

ゲンジボタルは6~

7月ごろ、ひと回り小

さいへイケボタルは7

月ごろから姿を現す。

今、我が家ではホタ

ルブクロが真っ盛りで

ある。白と紫の2色が

鮮明になつて来る。

今年は、入院中でホ

タルを見に行く機会が

なかつた。もつとも、

月半位は、川で

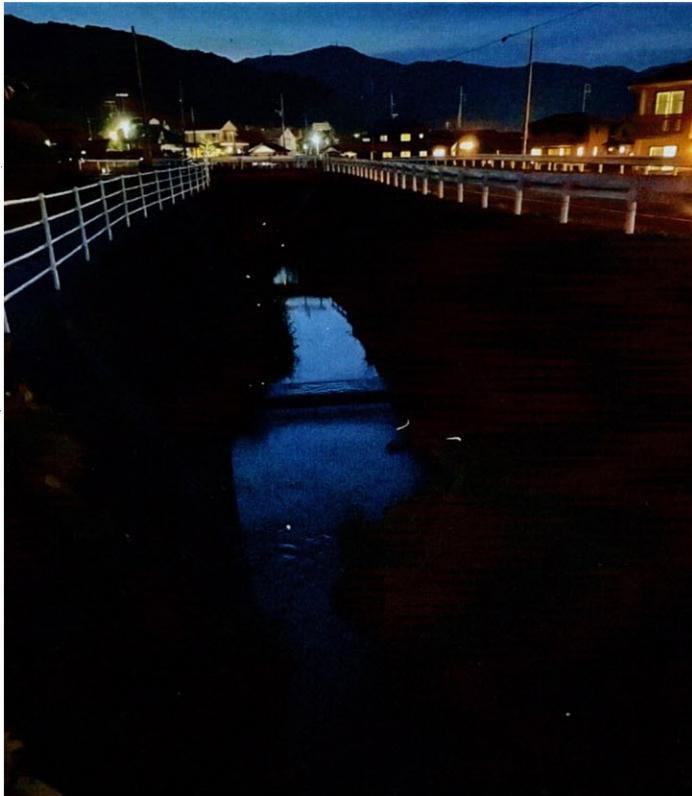
入院していなくて、

ホタルが交戦を行つた。

今年は、入院中でホ

タルを見に行く機会が

いた。



成長した。もともと野  
70~80センチのたけにまで  
入りしている。